

【問診エントリーシステム（患者用）の動作モードについて】

システムへの接続実施時に指定された端末個々の専用パラメータにより、環境設定マスタの設定情報を参照し動作モードを切り替えるようにする。

- (1) 自動印刷モード (AUTO_PRINT_MODE)
問診情報を登録した時に、問診表の自動出力を行うかを選択できる。
- (2) 初診印刷モード (SHOSIN_PRINT_MODE)
問診表の出力が初診のみか、常に出力を行うかを選択できる。
※AUTO_PRINT_MODE=1 の時に有効。
- (3) マウスモード (MOUSE_MODE)
マウスポインタを表示するか非表示にするか選択できる。
- (4) 中断モード (CHUDAN_MODE)
中断ボタンのクリック時に保存するかどうかを設定できる。
- (5) 最終情報読出モード (GET_LASTDATA)
新たに問診登録をする際に最後の登録した問診情報を反映するか選択できる。
- (6) ログ取得レベルの指定 (MONSIN_LOG_LV)
操作ログの取得レベルを指定できる。取得しない設定も可能。

【画面表示について】

患者用システム起動時に JavaScript で画面を最大化する。

【起動用 URL 及びパラメータについて】

- (1) URL
患者用システム使用中は、URL が一切変わらないようにする。
- (2) パラメータ
端末毎に設置場所の判定ができるよう、URL に端末番号 ID を記載する。

【タイムアウト処理について】

一定時間操作がない場合はタイムアウトとし、初期画面に自動的に戻るようにする。
このタイムアウト時間は、LOGOFF_TIME に秒数を設定する。
但し、メッセージが表示された時は固定で5秒とする。

【VAS制御について】

VASのサイドにはフェースマークを配置する。このフェースマークをクリックしたときVASのメモリも連動する。またVASとボタンがペアになっている場合は、ボタンを選択状態にする。

【個人情報の同意機能について】

ログオン後、又は登録後に個人情報の同意パネルを表示する。どちらのタイミングで表示するかは `PRIVACY_DISP_TIMING` で指定する。

メッセージ内容は `PRIVACYMSG_FILE01` で指定されたファイルの内容を表示する。

個人情報の同意パネルで同意ボタンを押した場合、同意後のメッセージを表示する。

このメッセージ内容は `PRIVACYMSG_FILE02` で指定されたファイルの内容を表示する。

個人情報の同意パネルで同意ボタンを押した場合、同意後のメッセージを表示する。

このメッセージ内容は `PRIVACYMSG_FILE03` で指定されたファイルの内容を表示する。

個人情報の同意パネルの表示時間は `PRIVACY_DISP_TIME` に秒数を設定する。

【グラフ表示機能について】

グラフ機能を使用するかどうか設定することが出来る。

グラフに表示する項目数を設定することが出来る。但し、0～15の範囲とする。

グラフに表示するシンボル・ラインの色の指定は `RGB(0～255)` をスペース区切りで指定(`R G B` 形式)する。

他の色を指定する場合は、専用のフォルダに対応する `GIF` ファイルを作成する。(形状の種類ごとに作成する必要あり) グラフ作成コンポーネントを使用し、視覚的にわかりやすい表現とする。

【印刷機能】

印刷は、フォント埋め込みせずに `PDF` で行う。

自動印刷するため `PDF` ファイル自身に `JavaScript` を挿入する。

【問診エントリーシステム（患者用）の動作モード一覧】

システム起動時の動作モードとして、下記の表の通り詳細な設定を可能としています。これらの設定をシステム稼働させる専用IDと関連付けることにより、システム稼働時に専用IDごとの運用方法の設定を決定することを可能としています。

端末ID	セッション名	項目ID	設定値	備考
CMN	SYSTEM	SYSNAME	漢方問診システム	システム名
		SYSVERSION	1.00	システム情報
	TOUCHPANEL	IRYOUKIKAN_CD	0000517	医療機関コード
		ERR_OUTPUT	1	エラーログ出力(1:出力する 0:出力しない)
		LOGOFF_TIME	60	強制ログオフ時間(秒)
		PRINT_MODE	1	印刷モード(0:ファイル出力 1:印刷) ※問診表
		AUTO_PRINT_MODE	1	自動印刷モード(登録時に印刷(出力しない)とする) ※問診表
		SHOSHIN_PRINT_MODE	0	初診印刷モード(初診時のみ印刷) ※問診表(自動印刷モードが1の時に有効)
		MOUSE_MODE	1	マウスモード(0:マウスポインタ非表示 1:表示)
		CHUDAN_MODE	1	中断モード(中断時に保存はしない 1:中断時に必須項目が登録されている場合に保存する)
		GET_LASTDATA	1	最終情報読出モード(最終データを読み出ししない 1:する=最新の問診に反映)
		PRIVACYMSG_DISP_TIMING	1	個人情報同意画面パネル表示タイミング(0:ログイン後 1:登録後)
		PRIVACYMSG_DISP_TIME	30	個人情報同意画面パネル表示時間(秒)
		Menushin_LogLv	3	LOG取得レベルの指定(0:LOG出力無し,1:IN-OUTのみ,2:Lv1画面遷移のみ,3:画面操作)
		KANJAMONSHINJINPUT_FUNC	1	変換パネルからの患者別問診項目名入力機能(0:使用しない 1:使用する)
		VASGRAPH_FUNC	1	VASグラフ機能(0:使用しない 1:使用する)
		VASGRAPH_ITEM_NUMBER	10	VASグラフ表示項目数(0~15)
		VASGRAPH_SYMBOL_COLOR01	255 0 0 赤	VASグラフシンボルカラー
		VASGRAPH_SYMBOL_COLOR02	0 255 0 ライム	
		VASGRAPH_SYMBOL_COLOR03	0 0 255 青	
		VASGRAPH_SYMBOL_COLOR04	128 0 128 紫	
		VASGRAPH_SYMBOL_COLOR05	128 128 0 オリーブ	
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR06	239 128 15 オレンジ		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR07	0 128 128 ティール		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR08	128 0 0 黒色		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR09	0 128 0 緑		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR10	0 128 128 紺色		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR11	255 0 255 フuchsia		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR12	0 255 255 水色		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR13	230 82 38 赤橙		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR14	0 163 125 蒼竹色		
	VASGRAPH_SYMBOL_COLOR15	0 123 195 露草色		
	VASGRAPH_PRINT_MODE	1	VASグラフの印刷モード(0:ファイル出力 1:印刷)	
	REPORT	PRT_ELLIPSE_X	0.0	問診表の楕円印字設定(開始位置X)
		PRT_ELLIPSE_Y	0.75	問診表の楕円印字設定(開始位置Y)
		PRT_ELLIPSE_H	5.0	問診表の楕円印字設定(高さ)
		PRT_ELLIPSE_LW	0.5	問診表の楕円印字設定(線の太さ)
		PRT_ELLIPSE_WLARGE	15.0	問診表の楕円印字設定(幅X大)
		PRT_ELLIPSE_WMIDDLE	10.0	問診表の楕円印字設定(幅X中)
		PRT_ELLIPSE_WMIDDLE_LEN_UPPER	12	問診表の楕円印字設定(幅X中)の上段文字数(バイト)
		PRT_ELLIPSE_WMIDDLE_LEN_LOWER	7	問診表の楕円印字設定(幅X中)の下段文字数(バイト)
		PRT_ELLIPSE_WSMALL	5.0	問診表の楕円印字設定(幅X小)
		MONSHIN_PRINT_MODE	1	問診表の印刷モード(0:ファイル出力 1:印刷)
	VASGRAPH_PRINT_MODE	1	VASグラフの印刷モード(0:ファイル出力 1:印刷)	
	MANAGEMENT	ANALYSIS_FUNC	1	分析用データ出力機能(0:使用しない 1:使用する)
	MASTER	PDF_AUTO_PRINT	1	PDFを自動印刷するか 0:しない 1:する
		FORMAT_BIRTHDAY_DISP	yyyye年MM月dd日	患者生年月日の表示書式

【問診エントリーシステムの各画面について：診察番号入力（認証）】

診察券の番号認証が行われた後、問診項目画面の上部に氏名を表示する。また、問診エントリーシステムへの利用者登録時に性別情報を登録することで、性別特性による問診項目を表示する。

タッチパネルシステムの認証機能を提供する。認証キーは診察番号(=診察券の番号、患者番号)のみで、最大16桁の数字によって構成される。

診察番号を入力して確定ボタンを押すと、データベース内の患者マスタ等と照合して問診入力画面に進む。照合できない場合は、画面を初期化する。

訂正ボタンは、診察番号を最後から1文字ずつ消去していく。

タッチパネルシステムは、環境設定マスタに定義された秒数間操作が行われないと初期状態に戻る。但し、メッセージに対しては固定で5秒とする。

プログラム起動は、ブラウザより患者専用のURLにてアクセスする。

プログラム終了は、ブラウザの閉じるボタンを押す。

画面解像度（表示領域）はSXGA(1280×1024)を基準にデザインとする。

(画面サンプル)

【問診エントリーシステムの各画面について：問診入力表示：1 ページ目】

問診エントリーシステムでは、初期表示でグレー色ボタンはサブダイアログが無い問診項目、クリーム色はサブダイアログが存在する問診項目を意味する。どちらの場合も選択されると赤色になる。数値入力ダイアログと単一選択なダイアログは、その内容を問診項目ボタンに反映する。

1 ページ目には問診項目について必須解答の項目が指定されており、入力されない限り次のページに遷移する事はできない。また、データベースにて定義された問診項目を表示

することとする。

この問診ページがアクティブな時は、左側パネルの"日常の生活"をランプする。

画面遷移機能の“戻る” ボタンを表示しない。

画面遷移機能の“次へ” ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

問診項目画面内の“中断” ボタンのクリックにより中断処理を行いログイン画面に戻ることができる。(環境設定マスタの定義により、中断時に登録処理を行うこともできる)

左側パネルを構成する問診大分類マスタ、各ページを構成する問診グループ(例：食欲)を表すのが問診中分類マスタ、グループ内の問診項目を表すのが問診項目マスタ、問診項目に対する詳細項目を表すのが問診詳細項目マスタとする。

問診グループ内の全てのラベルは、データベース内の問診ラベルマスタによって構築し、操作ボタンと装飾の制御を分離する。

(画面サンプル)

漢方問診システム
てすとたろう様 Ver.2.02

日常の生活
全身症状
痛み・冷え等
個別症状①
個別症状②
生活習慣
女性のみ

【食欲】 ※必須項目
食欲がない ふつう 食欲旺盛

【食事の速さ】 ※必須項目
遅い ふつう 速い

【睡眠】 ※必須項目
よい 眠れない() 日中の眠気

【睡眠・夢】
夢を良く見る

【小便】
1日に2回位 夜間に3回位 回数が多い
排尿困難 排尿痛 尿もれ 尿意感 尿閉感

【大便】
毎日 7日に1回位
硬い ころころしている 普通 軟らかい
下痢 出にくい 痔がある 脱肛
出血 下剤を服用

中断 次へ

【問診エントリーシステムの各画面について：問診入力表示：2ページ目】

デフォルトでグレーボタンはダイアログが無いもの、クリーム色はダイアログが存在するものを意味する。どちらの場合も選択されると赤になる。数値入力ダイアログと単一選択なダイアログは、その内容を問診ボタンに反映する。

この問診ページがアクティブな時は、左側のパネルの“全身症状”をランプする。

2ページ目は、データベースにて定義された問診項目を表示することとする。

画面遷移機能の“戻る”ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

画面遷移機能の“次へ”ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

問診項目画面内の“中断”ボタンのクリックにより中断処理を行いログイン画面に戻ることができる。(環境設定マスタにより中断時に登録処理を行うこともできる)

問診ページを表すのが問診大分類マスタ、各ページを構成する問診グループ(例：食欲)を表すのが問診中分類マスタ、グループ内の問診項目を表すのが問診項目マスタ、問診項目に対する詳細項目を表すのが問診詳細項目マスタ。

問診グループ内の全てのラベルは、データベース内の問診ラベルマスタによって構築し、操作ボタンと装飾の制御を分離する。

(画面サンプル)

【問診エントリーシステムの各画面について：問診入力表示：3 ページ目】

デフォルトでグレーボタンはダイアログが無いもの、クリーム色はダイアログが存在するものを意味する。どちらの場合も選択されると赤になる。数値入力ダイアログと単一選択なダイアログは、その内容を問診ボタンに反映する。

この問診ページがアクティブな時は、左側のパネルも“痛み・冷え等”をランプする。

3 ページ目は、データベースにて定義された問診項目を表示することとする。

画面遷移機能の“戻る” ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

画面遷移機能の“次へ” ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

問診項目画面内の“中断” ボタンのクリックにより中断処理を行いログイン画面に戻ることができる。（環境設定マスタにより中断時に登録処理を行うこともできる）

問診ページを表すのが問診大分類マスタ、各ページを構成する問診グループ(例：食欲)を表すのが問診中分類マスタ、グループ内の問診項目を表すのが問診項目マスタ、問診項目に対する詳細項目を表すのが問診詳細項目マスタ。

問診グループ内の全てのラベルは、データベース内の問診ラベルマスタによって構築し、操作ボタンと装飾の制御を分離する。

(画面サンプル)

【問診エントリーシステムの各画面について：問診入力表示：4 ページ目】

デフォルトでグレーボタンはダイアログが無いもの、クリーム色はダイアログが存在するものを意味する。どちらの場合も選択されると赤になる。数値入力ダイアログと単一選択なダイアログは、その内容を問診ボタンに反映する。

この問診ページがアクティブな時は、左側のパネルも“個別症状①”をランプする。

4 ページ目は、データベースにて定義された問診項目を表示することとする。

画面遷移機能の“戻る” ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

画面遷移機能の“次へ” ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

問診項目画面内の“中断” ボタンのクリックにより中断処理を行いログイン画面に戻ることができる。（環境設定マスタにより中断時に登録処理を行うこともできる）

問診ページを表すのが問診大分類マスタ、各ページを構成する問診グループ(例：食欲)を表すのが問診中分類マスタ、グループ内の問診項目を表すのが問診項目マスタ、問診項目に対する詳細項目を表すのが問診詳細項目マスタ。

問診グループ内の全てのラベルは、データベース内の問診ラベルマスタによって構築し、操作ボタンと装飾の制御を分離する。

(画面サンプル)

漢方問診システム	
てすとたろう様	
Ver.2.02	
日常生活 全身症状 痛み・冷え等 個別症状① 個別症状② 生活習慣 女性のみ	【あたま】
	頭痛 頭重 めまい 立ちくらみ
	ふけがやすい 髪がぬげやすい
	【目】
	視力低下 目が疲れる 目がかすむ
	目がしょぼしょぼする 目のクマができる
	【鼻】
くしゃみ 鼻汁 鼻汁がのどにおりる	
鼻づまり 鼻血	
【口腔】	
口が苦い つばが多い のどが痛む のどがつかえる	
のどが渇く 口の中が乾燥する 唇が渇く 水分をよくとる	
【耳】	
耳なり 難聴	
中断 戻る 次へ	

【問診エントリーシステムの各画面について：問診入力表示：5 ページ目】

デフォルトでグレーボタンはダイアログが無いもの、クリーム色はダイアログが存在するものを意味する。どちらの場合も選択されると赤になる。数値入力ダイアログと単一選択なダイアログは、その内容を問診ボタンに反映する。

この問診ページがアクティブな時は、左側のパネルも“個別症状②”をランプする。

5 ページ目は、“腹痛”等の一部問診項目はダイアログで複数項目を指定する事ができる。しかし全て表示する事はできない為、その内容はボタンに反映しない。

また、その他問診項目は、データベースにて定義された問診項目を表示することとする。

画面遷移機能の“戻る” ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

画面遷移機能の“次へ” ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

問診項目画面内の“中断” ボタンのクリックにより中断処理を行いログイン画面に戻ることができる。（環境設定マスタにより中断時に登録処理を行うこともできる）

問診ページを表すのが問診大分類マスタ、各ページを構成する問診グループ(例：食欲)を表すのが問診中分類マスタ、グループ内の問診項目を表すのが問診項目マスタ、問診項目に対する詳細項目を表すのが問診詳細項目マスタ。

問診グループ内の全てのラベルは、データベース内の問診ラベルマスタによって構築し、操作ボタンと装飾の制御を分離する。

(画面サンプル)

【問診エントリーシステムの各画面について：問診入力表示：6 ページ目】

デフォルトでグレーボタンはダイアログが無いもの、クリーム色はダイアログが存在するものを意味する。どちらの場合も選択されると赤になる。数値入力ダイアログと単一選択なダイアログは、その内容を問診ボタンに反映する。

この問診ページがアクティブな時は、左側のパネルも“生活習慣”をランプする。

6 ページ目は、患者が1度登録したら初診日のみ入力できる問診ページになる。また、データベースにて定義された問診項目を表示することとする。

画面遷移機能の“戻る”ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

画面遷移機能の“次へ”ボタンを直接クリックし、次の問診ページへ遷移することができる。

問診項目画面内の“中断”ボタンのクリックにより中断処理を行いログイン画面に戻ることができる。（環境設定マスタにより中断時に登録処理を行うこともできる）

問診ページを表すのが問診大分類マスタ、各ページを構成する問診グループ(例：食欲)を表すのが問診中分類マスタ、グループ内の問診項目を表すのが問診項目マスタ、問診項目に対する詳細項目を表すのが問診詳細項目マスタ。

問診グループ内の全てのラベルは、データベース内の問診ラベルマスタによって構築し、操作ボタンと装飾の制御を分離する。

(画面サンプル)

漢方問診システム
ですとらう様 Ver 2.02

日常生活
全身症状
痛み・冷え等
個別症状①
個別症状②
生活習慣
女性のみ

【好きな飲食物】
甘いもの 塩辛いもの 辛いもの すっぱいもの
油っこいもの 冷たいもの 温かいもの 肉
焼き魚 煮魚 刺身 海藻
生野菜 温野菜 卵 乳製品

【嗜好品】
アルコール 飲まない 飲む、週に()日
タバコ 吸わない 吸っていた()才~()才
吸っている()才()本/日
コーヒー 紅茶 日本茶 その他 1日に()杯

【家族構成】
同居人 未婚 既婚
配偶者 父 母 祖父 祖母
兄弟 姉妹 子供 その他

中断 戻る 次へ

【問診エントリーシステムの各画面について：問診入力表示：7ページ目】

デフォルトでグレーボタンはダイアログが無いもの、クリーム色はダイアログが存在するものを意味する。どちらの場合も選択されると赤になる。数値入力ダイアログと単一選択なダイアログは、その内容を問診ボタンに反映する。

この問診ページがアクティブな時は、左側のパネルも“女性のみ”をランプする。

6ページ目は、女性のみ問診ページで、男性の場合は一切表示されない。これにあわせて、左側のランプも表示しない。

最終ページは画面遷移機能の“次へ”ボタンを表示しない。

画面遷移機能の“戻る”ボタンを直接クリックし、前のページへ移動することができる。(初診日以降では"生活習慣"ページには移動不可)

登録ボタンのクリックにより登録処理を行いログイン画面に戻る。

中断ボタンのクリックにより中断処理を行いログイン画面に戻る。(環境設定マスタにより中断時に登録処理を行うこともできる)

問診ページを表すのが問診大分類マスタ、各ページを構成する問診グループ(例：食欲)を表すのが問診中分類マスタ、グループ内の問診項目を表すのが問診項目マスタ、問診項目に対する詳細項目を表すのが問診詳細項目マスタ。

問診グループのラベルや"※必須項目"等の全てのラベルは、問診ラベルマスタによって構築し、操作物と装飾の制御を分離する。

(画面サンプル)

【問診エントリーシステムの各画面について：問診表出力】

入力された内容を指定された帳票レイアウトに出力する。基本的なレイアウトは、運用中の問診表を元に参考として構成する。

ヘッダー部には、医療機関情報、患者情報、問診データの作成日付等を印字する。

詳細部には、選択された問診データを元に該当する項目の上に○印を印字する。

○印の印字幅に関しては、大・中・小を用意し、項目の文字数によって適当な大きさの○印を印字する。数値入力項目に関しては、() の中に数値を印字する。各ページには以下の情報を固定印字する。

ヘッダー部： 医療機関名、記入日付、患者番号、患者名

詳細部： 問診マスタに対応した問診項目

(出力サンプル)

漢方クリニックをどうやって知りましたか？		(モイスクリニック)
患者番号	3	漢方診療科問診表
お名前	てすと とうろう	記入日付: 2012/03/16
現在、困っている症状		今までにかかった病気
今までに飲んだ漢方薬		
当てはまるものには○、特にひどいものには◎で囲んで下さい		
【食欲】	◎ <input type="checkbox"/> 減る ◎ <input type="checkbox"/> 増える	【食事の速さ】 ◎ <input type="checkbox"/> 遅い ◎ <input type="checkbox"/> 早い
【睡眠】	よい ◎ <input type="checkbox"/> (寝つきが悪い) ◎ <input type="checkbox"/> (途中で目が覚める) ◎ <input type="checkbox"/> (朝早く目が覚める) 日中の眠気 夢を良く見る	
【小便】	1日に()回位 夜間に()回位 1回量が(多・普通・少) ◎ <input type="checkbox"/> 尿頻 ◎ <input type="checkbox"/> 尿閉 ◎ <input type="checkbox"/> 尿濁	
【大便】	毎日()日に()回位 硬い ◎ <input type="checkbox"/> 柔らかい ◎ <input type="checkbox"/> 下痢 ◎ <input type="checkbox"/> 出にくい ◎ <input type="checkbox"/> 痔がある	
【あたま】	頭痛(発作性・拍動性) 頭暈 めまい 立ちくらみ ふけがしやすい 髪が抜けやすい	
【目】	視力低下 目が乾く 目がかすむ 目がしょぼしょぼする 目のかまができる	
【鼻】	くしゃみ 鼻汁(白・黄色・粘性・水様) 鼻汁がのどにおりる 鼻づまり 鼻血	
【口咽】	口が臭い 舌が厚い 舌が痛い のどが乾く のどがつかえる のどが熱い 口の中が乾燥する 喉が乾く 水分をよくなる	
【耳】	耳鳴り 耳痛	
【胸部】	咳(ありなし) 痰(白・黄色・粘性・水様) 喘息 息切れ 動悸(発作的・運動時) 胸痛 胸のつかわり	
【腹部】	胃痛 胸やけ みぞおちがつかえる 吐気 嘔吐 乗り物酔い 腹が張る 腹が重く感じる	
【手足】	ガスをよく出る 食後眠くなる 腰痛(頸部・腰部・臀部) 腰痛(発作性・突然ではない)	
【手足】	手がこぼれる(起床時・1日中) 足に力が入らない 足がふるふる 足がつかつか しゃべりができる	
【精神状態】	気分が憂うつになる ものを忘れをする イライラする 気がない 集中力がでない	
【皮膚】	肌荒れがひどくなる 皮膚のかゆみ にかげ しみ じんましん いぼ 水虫 爪がもろい アゲができやすい	
【その他】	疲れやすい 汗をかきやすい(顔・手・足・背・体) 便がゆるい 便が固い 暑がり 寒がり	
1日の中で気になる症状が変化する場合		
こる	首 肩 背中 腰 その他()	<p>図で症状のあるところに○印をつけて下さい。</p>
痛む	顔 手(右・左) 足(右・左) 肩(右・左) 背中 腰 膝(右・左) その他()	
しびれる	顔 手(右・左) 足(右・左) 背中 その他()	
ふるふる	顔 手(右・左) 足(右・左) その他()	
冷える	全身 手(右・左) 足(右・左) 腰 その他()	
ほてる	顔 手(右・左) 足(右・左) その他()	
むくむ	顔 手(右・左) 足(右・左) その他()	
【好きな飲食物】	甘いもの 塩辛いもの 辛いもの すっぱいもの 油っこいもの 冷たいもの 温かいもの	
	肉 焼魚 煮魚 刺身 海藻 生野菜 温野菜 卵 乳製品	
【嗜好品】	アルコール: 飲まない 飲む 濃に()日 アルコールの種類と量()	
	タバコ: 吸わない 吸っていた()年 吸っている()年()本/日	
	コーヒー 紅茶 日本茶 その他() 1日に()杯	
【家族構成】	未婚 既婚 配偶者 父 母 祖父 祖母 兄弟 姉妹 子供 その他	
【月経】(女性のみ)	初経()才 閉経()才 最終月経()年 月 月経周期()日 出血期間()日	
	出血量(多・普通・少) おりもの 月経痛	
	妊娠の可能性(なし・あり) 月経不順(なし・あり(4日以上ずれる))	
	ピル使用 分焼()回 自然産産()回 人工流産()回 妊娠中重症 不正出血 子宮脱	
その他、気になる症状があればお書き下さい		
印刷日時: 2012/03/16 17:11:16		

【問診エントリーシステムの各画面における項目変更について】

ページ数	変更内容
1	【睡眠】 日中の眠気 追加
	【小便】 残尿感 追加
2	【精神状態】 気力がない 追加
	【精神状態】 集中力がない 追加
	【精神状態】 わけもなく焦る 追加
	【精神状態】 朝、起きにくく調子がでない 追加
	【精神状態】 ちょっとした事に驚きやすい 追加
	【皮膚】 アザができやすい 追加
	【その他】 風邪をひきやすい 追加
	【その他】 身体がだるい 追加
	【その他】 身体が重たく感じる 追加
	【その他】 1日の中で気になる症状が変化する 追加
5	【胸部】 胸のつまり

【問診エントリーシステムの各画面について：VAS グラフ出力】

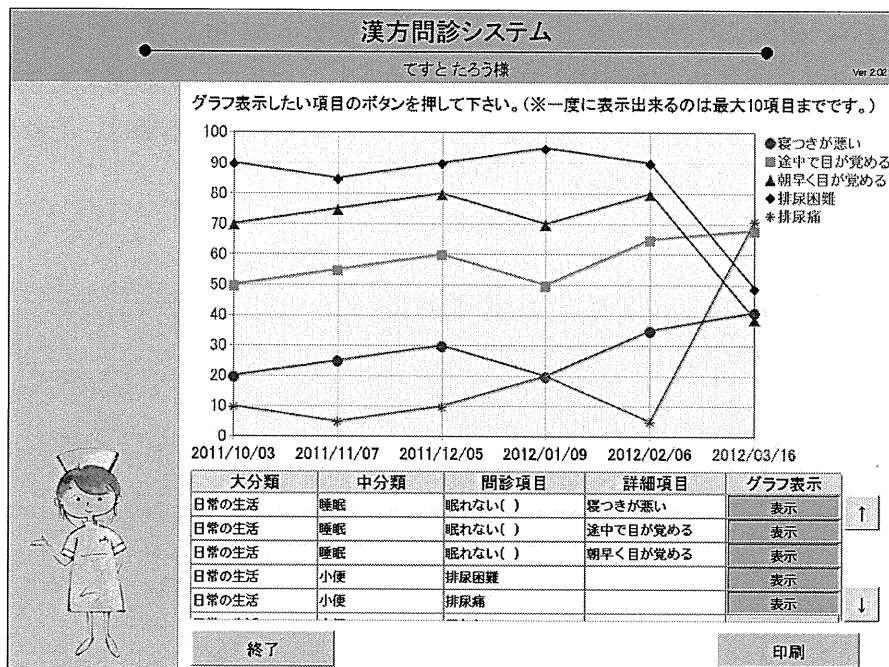
過去 6 回分の問診の VAS 項目を一覧に表示する。

グラフ欄の「表示／非表示」ボタンにより、グラフに表示出来る項目を選択することが出来る。(グラフ表示上限数は、環境設定マスタで設定する。)

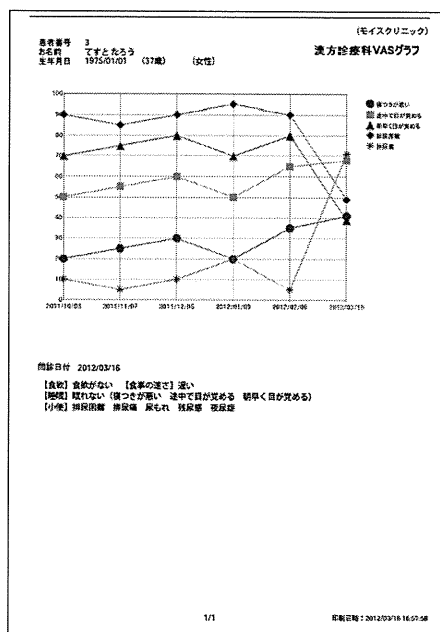
「印刷」ボタンのクリックにより、「VAS グラフ」帳票印刷。

「終了」ボタンのクリックにより、ログイン画面に戻る。

(画面サンプル)



(出力サンプル)



【問診エントリーシステムのダイアログタイプについて：ダイアログタイプ1】

データベース内に問診項目ごとのダイアログ出力方法を指定することができる。

この問診ごとに指定されたダイアログ動作モードにより単一選択ダイアログ(01)か複数選択ダイアログ(02)を表示する。

単一選択ダイアログ(01)か複数選択ダイアログ(02)のどちらの場合もボタンは最大4つまでとし、単一選択の場合は選択できるボタンは1つ、複数選択の場合は複数選択できる。1つも選択していない状態でも確定できる。

“初めから” ボタンのクリックで全ての項目をクリアする。但しダイアログは閉じない。

“取消” ボタンのクリックでダイアログを初期化し、ダイアログを閉じた後に問診項目も解除する。(メッセージボックスやダイアログが表示されている間は、それ以外のボタン等は操作できないようにする。)

(画面サンプル)

タイトル

ダイアログ説明

削除 取消 確定

【問診エントリーシステムのダイアログタイプについて：ダイアログタイプ2】

データベース内に問診項目ごとのダイアログ出力方法を指定することができる。

この問診ごとに指定されたダイアログ動作モードによりスケール+単一選択ダイアログ(03)かスケール+複数選択ダイアログ(04)の時に使用する。

ボタンの操作に関係なくスケールを指定できる。どちらの場合もボタンは最大4つまでとし、単一選択の場合は選択できるボタンは1つ、複数選択の場合は複数選択できる。1つも選択していない状態でも確定できる。

“初めから” ボタンのクリックで全ての項目をクリアする。但しダイアログは閉じない。

“取消” ボタンのクリックでダイアログを初期化し、ダイアログを閉じた後に問診項目も解除する。




スケールの値は0～100で、初期値は0になっている。フェイスをクリックすると1ずつ移動する。実行時、0～100までで、10ずつ目盛りを表示する。つまみをドラッグで移動させることもできる。(メッセージボックスやダイアログが表示されている間は、それ以外のボタン等は操作できないようにする。)

(画面サンプル)

タイトル

ダイアログ説明
(顔のボタンを押して症状の程度を選択して下さい。)

0

min max

[] []
[] []

削除 取消 確定

【問診エントリーシステムのダイアログタイプについて：ダイアログタイプ3】

データベース内に問診項目ごとのダイアログ出力方法を指定することができる。

この問診ごとに指定されたダイアログ動作モードにより1 数値入力ダイアログ(05)か2 数値入力ダイアログ(06)の時に使用する。

1 数値入力の時は前後に2つのラベルを設定できる。

2 数値入力の時は2つのフィールドを挟む3つのラベルを設定できる。

また2つのフィールドのフォーカスは“切替”ボタンによって行う。

2 数値入力ダイアログの場合、カレント項目は赤色とし、上矢印を表示する。

又、値を入力しなくても確定できる。

“初めから”ボタンのクリックで全ての項目をクリアする。但しダイアログは閉じない。

“取消”ボタンのクリックでダイアログを初期化し、ダイアログを閉じた後に問診項目も解除する。(メッセージボックスやダイアログが表示されている間は、それ以外のボタン等は操作できないようにする。)

(画面サンプル)

タイトル

ダイアログ説明

↑ ↑

7	8	9
4	5	6
1	2	3

訂正 0 切替

削除 取消 確定

【問診エントリーシステムのダイアログタイプについて：ダイアログタイプ4】

データベース内に問診項目ごとのダイアログ出力方法を指定することができる。

この問診ごとに指定されたダイアログ動作モードによりスケールダイアログ(07)の時に使用する。

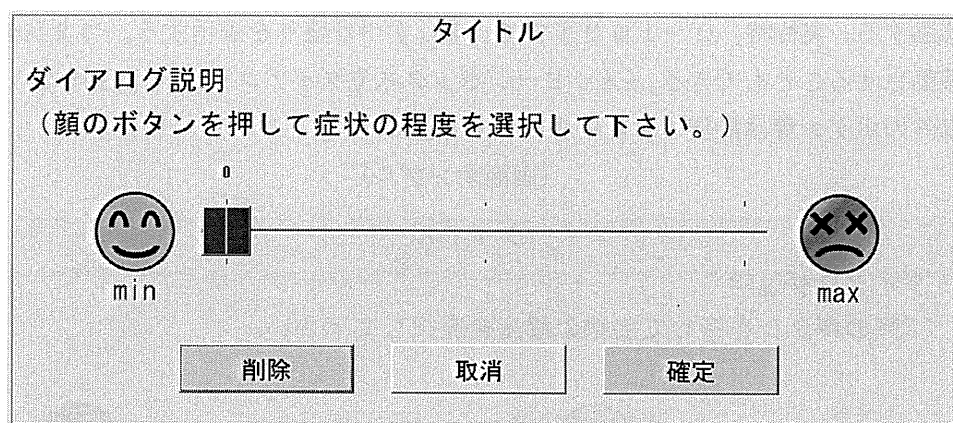
初めからボタンを押すと全ての項目をクリアする。但しダイアログは閉じない。

取消を押すとダイアログを初期化し、ダイアログを閉じた後に問診項目も解除する。

スケールの値は0～100で、初期値は0になっている。フェイスをクリックすると1ずつ移動する。実行時、0～100までで、10ずつ目盛りを表示する。つまみをドラッグで移動させることもできる。

※メッセージボックスやダイアログが表示されている間は、それ以外のボタン等は操作できないようにする。

(画面サンプル)



【問診エントリーシステムのダイアログタイプについて：ダイアログタイプ5】

データベース内に問診項目ごとのダイアログ出力方法を指定することができる。

この問診ごとに指定されたダイアログ動作モードにより単一選択スケールダイアログ(08)か複数選択スケールダイアログ(09)の時に使用する。ダイアログタイプ2と似ているが、ボタンとスケールが1対1に存在する点が異なる。(最大3セット)スケールを操作すると自動的にボタンが選択状態になる。

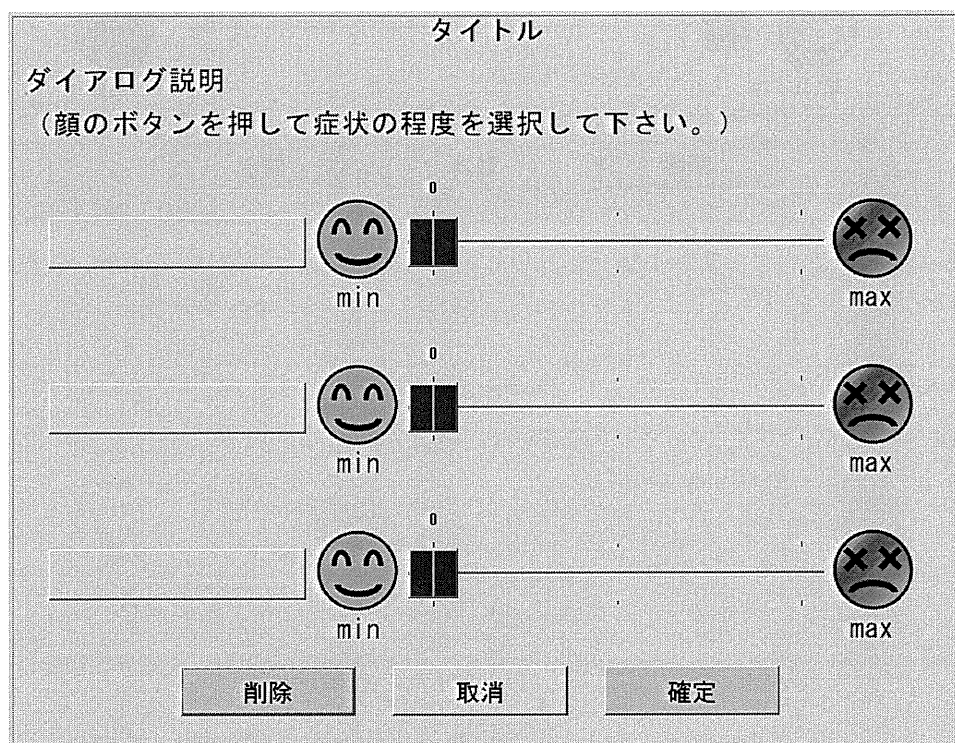
スケールを0にしてもボタンは解除されないが、選択されていないボタンに対応するスケール値は登録されない。1つも選択していない状態でも確定できる。

“初めから” ボタンのクリックで全ての項目をクリアする。但しダイアログは閉じない。

“取消” ボタンのクリックでダイアログを初期化し、ダイアログを閉じた後に問診項目も解除する。

スケールの値は0～100で、初期値は0になっている。フェイスをクリックすると1ずつ移動する。実行時、0～100までで、10ずつ目盛りを表示する。つまみをドラッグで移動させることもできる。(メッセージボックスやダイアログが表示されている間は、それ以外のボタン等は操作できないようにする。)

(画面サンプル)



【問診エントリーシステムの操作ログについて】

問診タッチパネルにて、操作内容をデータベース上に保管する。但し、登録された値についての LOG 出力は行わない。また、環境設定マスタに基づいてログレベルを決定しデータベース内に格納する。

ログレベル

- 0 LOG 出力無し ログ取得は行わない。
 - 1 IN-OUT のみ ログイン及びログアウト情報のみ
 - 2 Lv1 画面遷移のみ 画面レベル 1 の遷移情報のみ
 - 3 画面操作 症状等のボタンの押下まで
(登録された数値等については対象外)
- VAS グラフ画面の表示/非表示ボタン押下
(初期表示時のシステム押下含む)

テーブルカラム	ログレベル			
	0	1	2	3
str_IryokikanCode	×	○	○	○
num_KanjaCode1	×	○	○	○
num_LayoutNo	×	○	○	○
str_Lv1Code	×	×	○	○
str_Lv2Code	×	×	×	○
str_Lv3Code	×	×	×	○
str_Lv4Code	×	×	×	○
str_OpType	×	※1	※2	※3
day_Create	×	○	○	○
day_Update	×	×	×	×